



和木町

WAKI TOWN

活動取組

放課後子ども教室



わきあいキッズ

「居場所」と「豊かな体験」を提供。令和2年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰。

地元企業との連携



コンビ学習

日本最初の石油コンビナートとのコンビ（連携）で化学教室を開催。

町ぐるみの熟議で思いを共有



和木町CS委員会

「いかにわかりやすく共有し、実行に移していくか」を大切にして熟議を実施した。

園小中で力を入れてます！



和木学園あいさつ運動

中学生（有志）はこども園や小学校前、その他の交差点に移動してあいさつ運動することもあった。

和木町の推進構想

1 取組の成果と課題

- 「町ぐるみ」の協力体制が構築され、好事例も生まれている。周知の面でも以前より広がりが見られる。
- 思いの共有につなげるための話し合いを工夫して行っており、一貫教育や園児児童生徒の参画のあり方を意識した取組も増えつつある。
- 「各自が自分の言葉で和木学園を語れるか」はまだまだ弱いものがある。
- 地域人材の固定化・高齢化（⇒継続性のある「みんなの和木学園」へ）

2 重点取組事項

- ・当事者意識ややる気につながる熟議の実施
- ・あいさつの本質が体现できる取組の工夫
- ・新たな人材の発掘・育成を意識したつながりづくり、活躍の場の創出
- ・参画意識をより高めるための、スモールステップのワークシートを活用した事前協議

3 取組の指標

- ・「あいさつアンケート」における意識の変容
- ・和木学園講座のネットワークを活用して声かけをした人数
- ・PTAや家庭教育支援チームメンバーと連携・協働した活動回数

